

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 29 年 5 月 30 日現在

機関番号：12601

研究種目：挑戦的萌芽研究

研究期間：2014～2016

課題番号：26590031

研究課題名(和文) デジタル資源を活用したA・スミス経済思想の多元的学際的構造分析の新たな試み

研究課題名(英文) New Approach to Multidisciplinary Structural Analysis of Adam Smith's Economic Thought Using Digital Materials

研究代表者

小野塚 知二 (ONOZUKA, Tomoji)

東京大学・大学院経済学研究科(経済学部)・教授

研究者番号：40194609

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,700,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、アダム・スミスの思想形成過程を探る一つの手掛かりとして、東京大学が所蔵するスミスの旧蔵書に焦点を当て、これを活用するための基盤を構築することを目的とするものである。その研究活動を通じて、学術研究と資料管理という両視点から、伝統的な人文科学的手法と最新の人文情報学的手法を有効に組み合わせることにより、この蔵書が持つ多様で詳細な情報を、より開かれた形で共有するための筋道を見出すことができた。

研究成果の概要(英文)：The purpose of this research is to establish an academic research basis for using Adam Smith's Library, a collection held by the University of Tokyo, as an approach to explore the formation of Adam Smith's thoughts. Through this research method, we were able to find a way to share in a more open manner varied and detailed information held in this Library. The approach effectively combines traditional humanities research methods and the latest methods of Digital Humanities in terms of both academic research and resource management.

研究分野：西洋経済史

キーワード：デジタル・ヒューマニティーズ スミス経済学 アダム・スミス文庫 スコットランド啓蒙 知の構造化 経済学史 社会思想史 書誌学

1. 研究開始当初の背景

アダム・スミス(1723-1790)は、現代経済学において、主流・非主流を問わず、その理論や思想の源泉として必ず言及される、「経済学の父」と称される大学者である。さらに、その関心は、人文・社会系の諸学問領域にとどまらず、天文学や物理学・生物学といった自然系の諸領域をも射程に入れる、いわば歴史上の知的巨人であることは、衆目の一致するところである。

しかし、スミスの所持していた草稿・原稿は、遺言により、ほぼ全て焼却されてしまった。このため、スミスの思想・理論の形成過程、その全貌は、他の経済学の大家に比較して、不明な部分が多く残っている。

こうした中で、経済学を始めとするスミス思想の成立過程を検討するために残された最大の手がかりが、スミス自身が所蔵していた2000点ほどの学術書等の出版物であり、その目録である。これまで、多くの碩学達により目録が作成されてきたが(ボナー1894,1832、矢内原忠雄1951、水田1967,2000)、特に、水田洋が2000年に刊行した目録は、いわば「決定版」として、多くの研究者が恩恵を受けている(*Adam Smith's Library: A Catalogue, with an Introduction and Notes by Hiroshi Mizuta*, Oxford University Press. 以下「水田目録」)。

しかし、21世紀の現在、メディアのデジタル化が急速に進む中で、目録の在り方や研究の手法も大きく変化しており、「水田目録」までに営々と蓄積されてきた成果も、新しい形で進展させることが求められている。折しも2010年代になり、東京大学経済学部において、その所蔵するスミス旧蔵書(「スミス文庫」)の画像デジタル化事業が開始された。これを契機に、人文・社会系の諸領域の様々な視角から、このコレクションを改めて活用するべく、本研究班が組織されることになった。

2. 研究の目的

本研究は、アダム・スミス旧蔵書のうち、英国以外で最大の規模を有する(314点)東京大学経済学図書館所蔵「アダム・スミス文庫」(以下「スミス文庫」)について、文献学的手法とデジタル技術の活用により、以下の2点について学術的検討を行うことを目的とするものである。

- (1) 経済学史、経済思想、西洋経済史、法学、宗教学、書誌学、人文情報学など多領域の研究者を動員し、当該文庫の学術的意義の究明を目指す。
- (2) 既に公開済みのスミス文庫高精細画像を活用し、(1)の研究成果を加味して、近年のデジタル・ヒューマニティーズの成果に基づき、研究者が自由に利活用し得るようなシステムのパイロットケースを提示し、情報基盤の整備を進める。

3. 研究の方法

本共同研究は、以下の3班から構成される。それぞれの班で連携をとりつつ研究を進めるとともに、メーリングリストや研究集会を通じて研究班全体での情報の共有、成果の報告・検討を行う。

(1) 基礎文献研究班

デジタルデータと原本と対照しつつ、スミス文庫の書籍に残された書入を精査し、テキスト化を行う。またスミス文庫中に含まれるアダム・スミスの手稿蔵書目録(1781年目録)について、データ化しテキストの校訂を行う。

(2) 応用文献研究班

スミスの思想の形成過程を究明するための基礎作業として、スミス文庫の諸文献がスミスの著作にどう反映されているかを精査する。また、書入や書籍の内容が、倫理学、道徳哲学、経済学など後代の諸学問に与えた影響にも検討を加える。

(3) 構造研究班

過去の目録を分析し、デジタルデータおよび原本を精査して、スミス文庫の書籍を書誌学的に解析するための基準を作成する。この基準を、人文情報学(Digital Humanities = DH)の手法を援用しつつ構造化し発信するための検討を行う。

4. 研究成果

(1) 蔵書の内容分析

「スミス文庫」

「スミス文庫」については、既に矢内原忠雄による目録が存在するほか、国立情報学研究所(NII)の目録所在情報サービス(NACSIS-CAT)にも登録されており、その概要の把握は容易にできるものの、これらの目録では、各タイトルの内容が、必ずしも明確にされていない。そこで、既に作成されているデジタルデータを参照しつつ、内容の主題分類をおこなった。

「スミス文庫」に経済学関係のものがほとんど存在しないことは、夙に指摘されているところであった。このことは、今回の調査で具体的に確認されたが、さらに、通常語られる経済学者・自然法学者・道徳哲学者としてのスミス像とは異なる、世界への関心、博物誌の愛好、イタリア叙事詩の愛好、といったスミスの志向を明確にすることができた(野原2016)。

1781年版手稿目録

「スミス文庫」に含まれる蔵書のうち、とりわけ重要なのは、スミス自身により作成された手稿の蔵書目録(*A catalogue of books belonging to Adam Smith, Esqr. 1781*)である。これは、文字通り、スミスの書齋に排列されていた書籍のタイトルを一覧にしたものであり、スミスの思想形成を検討する上で、第一級の史料である。

その内容は、既に翻刻されているものの(矢内原1951)、手稿であるため文字の異同

が少なからずあり、また、書名や著者名の表記法が一定しないため、これを現代の書誌情報と同じレベルで取り扱うためには、厳密な校訂が不可欠である。

そこで、まず、この手稿目録をテキスト・データ化し、校訂に着手するとともに、特にラテン語のタイトルについて、内容を精査してその特徴をまとめた(高橋 2016)。

(2) 書入・書込の精査

(1)の蔵書内容の分析と、スミス思想とを繋ぐためには、スミス自身がこれらの書物をどのように読んだのか、ということ明らかにする必要がある。しかしながら、スミス自身は、蔵書に対してほとんど書入れをしないことで有名であった。

ただし、東京大学のスミス文庫を実際に見ると、必ずしも全く書入がないとは限らないことがわかる。もちろん、書入の中には、スミス本人のものでないものも含まれるであろうが、蔵書の来歴を知るうえで、このような情報は不可欠である。書物の来歴は、所蔵者の思想の来歴と、何らかの形でリンクするはずである。

スミス文庫は、現在のところ、すべてがデジタル化されているわけではないため、原本に直接アクセスする必要があり、作業量は小さくはなかったが、既に全体の9割について確認が済み、その具体的な箇所や内容を精査することができた。これにより、こんご書入の分析を進めて行くにあたり、その内容だけでなく、筆跡やインクの種類といった情報からのアプローチも視野に入れた、基礎データが整えられたことになる。

(3) 所在未確認文献の調査

「水田目録」の最も重要な特徴は、スミスの旧蔵書の1点1点を手に取って、書誌情報を採取していることであり、これにより、その情報の精度・信頼性は他に得られないレベルに達している。このことは、蔵書の分析を行う際に不可欠の条件であり、本共同研究の存立基盤と言って過言ではない。

しかし、実は、編者自らが指摘するように、「水田目録」に掲載される約2000点は、そのすべての所在が確認されているわけではない。これは、対象となる文献が世界中に散在していること、所在情報が簡単には得難かったこと、また、それぞれの所在地に直接赴くという方法をとらざるをえなかった、という編纂時の環境的制約に拠るところが大きい。逆に言えば、現在の情報通信環境下であれば、別のより有効なアプローチが可能ではある。

そこで、まず「水田目録」を精査して、所在不明(unlocated)のタイトルを抽出した。その結果、所在不明は380タイトル程存在すること、言語が多岐にわたること等が判明した。さらに、水田ほか、原本の所在情報に詳しい関係者とコンタクトをとり、調査を効率

的に進めるために必要な情報を収集した。また、DHの最新動向を、研究班員で共有する場を設け、その手法を、こうした課題に用いるための方法を検討した。

このように、探索の対象を明確にし、その方法論の検討を積み重ねることにより、実際の調査への基盤を作ることができた。

(4) 書誌記述の検討

「スミス文庫」のもつポテンシャルをより有効に引き出すためには、そのアクセスを容易にできる環境を作ることと併せて、個々の書籍の有する情報を、より精緻に組織化することが不可欠である。ここでは、伝統的な書誌学の手法、最新の手法(DH)、古書店における手法、といった様々な方面からアプローチをおこなった。

まず、これまでにアダム・スミスの旧蔵書を活用して研究をしてきた研究者や、アダム・スミス旧蔵書のカタログ作成に取り組んだ経験のある研究者から聞き取りを行い、社会思想史研究における経済学者の旧蔵書のもつ意義や、デジタルアーカイブの可能性、研究者にとって使いやすいアーカイブシステムの仕様などについて知見を深めた。

また、DHの先駆的プロジェクトであるUniversity College LondonのBentham Projectを主導するPhilip Schofield教授等を招いて、公開ワークショップ「デジタル・ヒューマニティの最前線と経済学史研究」を開催した。さらに、画像をネット上で共有できるようにするためのviewerであるInternational Image Interoperability Framework (IIIF)や、新しい書誌記述原則であるResource Description & Access (RDA)等についての知見を得、「スミス文庫」への導入を検討した。

このほか、連携研究者2名をイギリスで開催されたYork Antiquarian Book Seminarに派遣し、古書店の目録やWebサービスの方法論・技術論、さらには古典籍の鑑識眼を高めるための情報を収集した。

(5) 成果の発信

学会報告

(1)~(4)での研究成果については、経済学史学会第80回大会(東北大学2016.5.21)セッション「東京大学『アダム・スミス文庫』の新カタログ作成ーデジタル資源を活用しつつ」(セッション代表者・報告者:野原慎司、報告者:有江大介、福田名津子)および、第66回日本西洋史学会大会(慶應義塾大学2016.5.22)セッション「デジタル資源を活用した資料の共有化とこれからの西洋研究への展望」(企画責任者・報告者:小野塚知二、報告者:小島浩之、高橋裕史、永崎研宣、森脇優紀、コメンテーター:松尾弘、司会:大澤耕史)にて、公開での報告・討論をおこなった。

書誌データ・画像データの公開

書誌記述を充実させるひとつの試みとして、既に NACSIS-CAT に登録されている「スミス文庫」のうち約 120 件の書誌データを、RDA に変換した。これにより、それまでの書誌記述原則に従って省略に付されていたタイトル情報等を、より詳細にし、こんご新たな書誌記述方法を策定するための検討材料として提示した。

BOOK CRTDT:2013.02.21 CRTFA:<FA011769> RNWDT:2016.11.30 RNWFA:<F<BB11678234> A011769>
CODE YEAR:1779
CNTRY:fr TTLL:fre TXTL:fre
TR Éloges lus dans les séances publiques de l'Académie française / par M d'Alembert, secrétaire perpétuel de cette Académie
PUB Paris : Chez Pancoucke : Chez Moutard , 1779
PHYS xxiv, vj, 559, [5] pages : 18 cm
VT ST:Éloges
NOTE 稀類コレクション(アダム・スミス文庫)につき記述対象資料毎に書誌レコード作成
NOTE Head- and tail-pieces
NOTE Errata at end of page 559
NOTE References: Yanaihara, Catalogue of Adam Smith's Library <BA06702026>, no. 1
NOTE References: Mizuta, Adam Smith's Library (2000) <BA49074286>, no. 24
NOTE Eco. Lib. previous call no.: 90.331
NOTE Book plate: Adam Smith
AL Alembert, Jean Le Rond d', 1717-1783 <DA01892113>

RDA による書誌記述例

また、「スミス文庫」のうち 11 冊を画像デジタル化し、東京大学経済学図書館の「西洋古典籍デジタルアーカイブ」にて公開した。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 7 件)

1. 森脇優紀、図書館員のための西洋古文書学ことはじめ：東京大学経済学図書館所蔵の古文書を実例に、大学図書館研究、査読有、106 巻、2017、pp.12-22

2. 福田名津子、「デジタル・ヒューマニティーズ 2.0」がもたらす人文・社会科学への影響：平成 27 年度デジタル・ヒューマニティーズ関連ワークショップ、一橋大学附属図書館研究開発室年報、査読無、4 号、2016、pp.52-65、info:doi/10.15057/28002

3. 矢野正隆、メディアの保存に関する試論：デジタル・メディアを手掛かりとして、情報の科学と技術、査読有、66 巻 4 号、2016、pp.160-165、http://doi.org/10.18919/jkg.66.4_160

4. 森脇優紀、東京大学経済学図書館が所蔵する神聖ローマ皇帝カール 6 世による同職組合規則の認可証について：モノとして、また史料としてみる西洋古文書、東京大学経済学部資料室年報、査読無、6 号、2016、pp.8-37

5. 永崎研宣、苜米地等流、A.Charles Muller、下田正弘、持続可能なデジタルアーカイブに向けて：SAT 大蔵経データベースにおける取り組みを通じて、じんもんこん論文集、査読有、2015、pp.219-224、https://ipsj.ixsq.nii.ac.jp/ej/index.php?active_action=repository_view_main_item_detail&page_id=13&block_id=8&ite

m_id=146581&item_no=1

6. 有江大介、田中秀夫編著『野蛮と啓蒙』(2014)を読む：我々はどちらの世界に住んでいるのだろうか、経済論集、査読無、64 巻 3-4 号、2015、pp.107-124、http://kuir.jm.kansai-u.ac.jp/dspace/handle/10112/10392

7. 福田名津子、アダム・ファースンの商業的アート概念：The Making of the Modern World を用いて、一橋大学附属図書館研究開発室年報、査読無、2 号、2015、pp.19-37、http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/rs/handle/10086/26719

[学会発表](計 9 件)

1. ONOZUKA, Tomoji, "Capitalism, Ethics, and Association: From the Experience of the Economic Historical Studies in Japan", International Conference "Capitalism and Ethics", 2016.10.1, Ritsumeikan University (Kyoto, Japan)

2. 小野塚知二、デジタル資源を活用した資料の共有化とこれからの西洋研究への展望：趣旨説明、第 66 回日本西洋史学会大会、2016.5.22、慶應義塾大学(東京都港区)

3. 小島浩之、日本におけるデジタル・アーカイブの動向と課題、第 66 回日本西洋史学会大会、2016.5.22、慶應義塾大学(東京都港区)

4. 高橋裕史、1781 年スミス蔵書目録公開への課題と展望：ラテン語蔵書を中心に、第 66 回日本西洋史学会大会、2016.5.22、慶應義塾大学(東京都港区)

5. 永崎研宣、デジタル・ヒューマニティーズの動向と課題、第 66 回日本西洋史学会大会、2016.5.22、慶應義塾大学(東京都港区)

6. 森脇優紀、デジタル・ヒューマニティーズを活用した「アダム・スミス文庫」研究、第 66 回日本西洋史学会大会、2016.5.22、慶應義塾大学(東京都港区)

7. 有江大介、新渡戸稲造購入・寄贈(1920)の東大『アダム・スミス文庫』とわが国のこれまでのスミス研究・スミス像、経済学史学会第 80 回大会、2016.5.21、東北大学(宮城県・仙台市)

8. 福田名津子、デジタル・ヒューマニティーズの可能性：研究に開かれた新しい目録、経済学史学会第 80 回大会、2016.5.21、東北大学(宮城県・仙台市)

9. 野原慎司、『アダム・スミス文庫』の調査から見えてくるスミス像、経済学史学会第 80 回大会、2016.5.21、東北大学(宮城県・仙台市)

市)

〔図書〕(計1件)

1. 戒能通弘・深貝保則・Philip Schofield・高島和哉・小畑俊太郎・Paul Kelly・有江大介・Frederick Rosen・板井広明・安藤馨、ジェレミー・ベンサム の挑戦、ナカニシヤ出版、2015、395p (pp.273-296)

〔その他〕

ホームページ等

西洋古典籍デジタルアーカイブ

http://www.lib.e.u-tokyo.ac.jp/?page_id=3760

6. 研究組織

(1)研究代表者

小野塚 知二 (ONOZUKA, Tomoji)
東京大学・大学院経済学研究科・教授
研究者番号：40194609

(2)研究分担者

福田 名津子 (FUKUDA, Natsuko)
一橋大学・附属図書館・助手
研究者番号：30456305

(3)連携研究者

有江 大介 (ARIE, Daisuke)
横浜国立大学・大学院国際社会科学研究
院・名誉教授
研究者番号：40175980

松尾 弘 (MATSUO, Hiroshi)
慶應義塾大学・法務研究科・教授
研究者番号：50229431

高橋 裕史 (TAKAHASHI, Hirofumi)
苫小牧駒澤大学・国際文化学部・准教授
研究者番号：30305966

野原 慎司 (NOHARA, Shinji)
東京大学・大学院経済学研究科・講師
研究者番号：30725685

小島 浩之 (KOJIMA, Hiroyuki)
東京大学・大学院経済学研究科・講師
研究者番号：70334224

永崎 研宣 (NAGASAKI, Kiyonori)
一般財団法人人文情報学研究所・主席研究
員
研究者番号：30343429

森脇 優紀 (MORIWAKI, Yuki)
東京大学・大学院経済学研究科・特任助教
研究者番号：90733460

矢野 正隆 (YANO, Masataka)
東京大学・大学院経済学研究科・助教

研究者番号：80447375

(4)研究協力者

大澤 耕史 (OSAWA, Koji)
ウィーン大学・歴史文化学部ユダヤ学研
究所・日本学術振興会海外特別研究員